

少数台数のリコール届出の公表について (平成22年2月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成22年2月は7件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：新明和工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月2日	2457	車名：いすゞ 他 型式：PDG-FTR34S2 他 通称名：フォワード 他	38	平成17年5月12日～ 平成20年9月27日
不具合の部位等	後部突入防止装置の溶接取付部において、溶接の未施工箇所があるため溶接部強度が不足し、保安基準に適合していないものがある。			

2. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月3日	外1649	車名：いすゞ 型式：KH-UES73FW 通称名：WIZARD	10	平成10年6月4日～ 平成13年1月12日
不具合の部位等	手動変速機付き車両に修理用として供給した原動機において、平成15年2月13日付け「届出番号外-999」の対策前のフライホイールを装着したため、高い変速ギア段で低速走行を行うと発生する振動によりフライホイール内部が破損し、最悪の場合、動力が伝達されず、走行不能となるおそれがある。			

3. 届出者：クライスラー日本株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
2月19日	外1653	車名：クライスラー 型式：ABA-JK38S 他 通称名：ジープ・ラングラー 他	39	平成21年5月27日～ 平成21年5月27日
不具合の部位等	ステアリング・コラムに装備されたSCCM（ステアリング・コラム・コントロール・モジュール）と運転席エアバッグ・モジュールをつなぐ配線の組み付けを誤ったため、衝突の際に運転席エアバッグが設計どおりに展開しない場合がある。そのため、乗員保護性能が低下するおそれがある。			

4. 届出者：UDトラック株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月23日	2468	車名：ニッサンディーゼル 型式：FJ552LN 通称名：-	4	平成17年3月28日～ 平成18年8月30日
不具合の部位等	原動機において、ブローバイ・ガス還元装置が装着されていないため、道路運送車両の保安基準に適合しない。			

5. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月26日	外1625	車 名：プジョー 他 型 式：ABA-T7C5FT 他 通称名：308CCグリフ 他	21	平成21年 5月23日～ 平成21年 6月 8日
不具合の部位等	ブレーキマスターシリンダにおいて、インナーシールを逆向きに組み付けたため、シール性が不足しているものがある。そのため、ブレーキの油圧が低下し、制動停止距離が長くなるおそれがある。			

6. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月26日	外1647	車 名：プジョー 型 式：ABA-T7W5FT 通称名：308SW	19	平成21年 9月14日～ 平成21年10月22日
不具合の部位等	右側ドライブシャフトベアリングのリテーニングプレートにおいて、取り付けボルトの締め付けトルクが不足しているため、当該ボルトが緩む場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、走行中にドライブシャフトから異音や微振動が発生し、最悪の場合、当該プレート及び当該ボルトが脱落するおそれがある。			

【参考】平成22年2月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	15件	13件	2件
輸入車	11件	6件	5件
計	26件	19件	7件

※リコール届出番号外 1650 は公表済みのため、本公表には含まれていません。